

キャラクター名
東雲 柚貴 (しののめ ゆずき)

プレイヤー名

シンドローム	エンジェルハイロウ		ワークス	UGNエージェントB	カヴァー	高校生
	パロール					
オプション			年齢	18	性別	男
覚醒	生誕	衝動	解放	初期侵食率	35 %	
出自	親の理解	経験	転校	邂逅	貸し (玉串たまき)	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	25
肉体	0	0	1			1	行動値	15
感覚	4	1	1			6	(非装備時)	15
精神	3	0	0			3	戦闘移動	20
社会	1	0	1			2	全力移動	40

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	1		RC	1		交渉		
回避			知覚	1		意志			調達	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:UGN +1	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:社会経験+1	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
流星の一矢	射撃	9r+1		3		コンセ+天からの眼+武器(3) コスト4
流星の一矢@100	射撃	13r+1		4		コンセ+天からの眼+武器(4) コスト4
薄明の一矢	射撃	10r+1		12		コンセ+天からの眼+巨人の斧(9)+武器(3) ダイス-2 コスト8
薄明の一矢@100	射撃	15r+1		16		コンセ+天からの眼+巨人の斧(12)+武器(4) ダイス-2 コスト8

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
携帯電話	
思い出の一品	
コネ: 情報屋	
コネ: 噂好きの友人	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
超侵蝕	P	N		
春日 恭二: シナリオ	P	感服	N	敵愾心
桐嶋 螢	P	友情	N	脅威
	P		N	
	P		N	
	P		N	
	P		N	

最大財産P: 6 残り財産P: 2

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
コンセントレイト:エンジェルハイロウ	2	2	メジャー	-	-	-	-	
効果: C値を-LV(下限値7)								
光の銃	1	2	セットアップ	至近	自身	-	-	
効果: 【武器作成】射撃/命中0/攻撃力Lv+2/視界								
天からの眼	3	2	メジャー/リアクション	-	-	射撃	-	
効果: 【射撃】判定のダイス+LV個								
巨人の斧	3	3	メジャー	武器	-	白兵/射撃	-	
効果: 【射撃】攻撃の攻撃力+[LVx3]、ダイス-2								
紡ぎの魔眼	3	1	オート	至近	自身	自動	-	
効果: 判定の直前に使用。ダイス+LV個。1ラウンド1回まで								
真昼の星	★	-	メジャー	至近	自身	自動	-	
効果: 視界を極限まで拡大し、真昼でも遠く彼方の星々を見ることができる。								
ディメンジョンゲート	★	3	メジャー	至近	効果参照	自動	-	
効果: 空間をねじ曲げて、遠く離れた自分の知っている場所につながるゲートを作り出す。								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

○経歴
オーヴァードとしての能力を持って生まれた高校生。
両親は情報屋裏稼業に従事しており、UGNとの関わりがあったため、能力が判明しても大きな騒ぎになることはなかった。
柚貴が将来どのような道でも選べるようにと、小中高普通に学校に通わせ、自衛も含めた裏稼情報収集の方法を教え込んだうえで、UGNを通じて能力の使い方を学ばせた。
自分の立ち位置に迷っていたが、参加した任務に影響を受けて真剣に向き合い始めている。
現在は高校に通いながら、槻市支部にエージェントとして所属。

○概要
知識を得ることへの興味もあって割と勉強が好きな生真面目な性格ではあるが、「能力を疑われないように過ごす」教育方針もあって学校ではユルくチャラいフレンドリーなキャラを演じている。
クラスメイトと仲良くなることは得意だが、親の裏稼業の関係で幼い頃は住居を転々としていたうえ、能力のことも稼業のことも明かせずにいるため、本当に親しい友人というものは作れずにいた。
広く薄っぺらい人間関係をうまく渡り歩いてきたが、それも桂市支部のカフェで五代アスナにほぼ一目惚れしてから少しずつ変化し始めた。
淡い恋心は任務の際に昇華され、「憧れのエージェント」である彼女といつか肩を並べられるように――
自分自身、そして周囲の人間に対して向き合わなければという気持ちを強くしている。
支部への所属を決めたのも、「自分が何かしらの役割を担える場所が欲しい」という思いからで、事件や任務を経て、支部への帰属意識や連帯感が生まれているようだ。
一騒動の末、自分から一歩距離を近づけた天乃創一朗とはよき友人。

○戦闘スタイル
遠距離射撃系。